

## 「懐かしのガネフォ」を読んで

成城水泳会 会長

石 塚 学 (65 歳)

(成城大学出身)

此度、大先輩の村上（本郷）順三さんから声を掛けていただき、本特集号に寄稿させていただいたことに、深く感謝申し上げます。

ガネフォに参加された諸先輩とは一回り以上歳下の年代となりますが、私なりに感じた「ガネフォ」についての感想を書かせて戴きます。また、併せて、私の知っている方々についてコメントさせて戴きます。

私は1954年（昭和29年）の生まれで、東京オリンピックの時は小学4年生でした。母に連れられ近所のNHKに勤めていた方のお宅の応接間で、生まれて初めて見たカラーテレビの前で多くの人と一緒に開会式を観たことを今でも覚えています。また、自宅の白黒テレビで数多くのオリンピックの競技を観たことも記憶にあり、日本人選手のプレーに一喜一憂したことや、ボブ・ヘイズ選手の陸上100m走など、外国人選手の活躍も含め、その感動シーンは、今でも私の臉に焼き付いています。

少年だった私にとって、東京オリンピックは、それだけインパクトが強いものであり、その後、私がオリンピック選手になりたいという想い、夢、あこがれを持って、水球の練習に励んだ自分に繋がったと思っています。

その東京オリンピックの前年にインドネシアで「新興国スポーツ大会」（ガネフォ）なるものが開催されたということ、そしてその大会に成城の先輩が出場していたことを知り、大きな驚きを感じました。

インドネシアという国は、数多くの島からなる国で、日本と同じく度々大地震が起こる地震国というイメージで、スポーツに関してはバドミントンの強豪国ではあるものの、他のスポーツは余り盛んではないというイメージしかなく、そのインドネシアが自国で国際的なスポーツ大会をこの1963年に開催したということは、大きな驚きです。そして、革命家スカルノ大統領の凄みとパワーを感じずにいられません。

「懐かしのガネフォ」を読み、成城学園高校の先輩の山本健さん達が選手集めに奮闘し、「東京クラブ」を立ち上げ、大会に出場するくだりは、まるで映画を見ているような気分になりました。出場した選手の皆さん全員が社会人で、大会出場に向け、伊豆・峰温泉プールのトレーニングを積み重ね、水泳連盟から無期限

の出場停止処分も覚悟の上で大会に出場したことは、山本健さんのお話に出てくるように、正に「神兵」と言えるのではないのでしょうか。

水球をやっていたものとして、国際大会に出場することは夢であり、そのビッグチャンスをつかむために、会社を説得し、会社員としての人生を賭けて出場した「ガネフォ戦士」の皆様の勇気に深く感動しました。

そのガネフォにかかわった方々のうち、私が知っている先輩達について私なりの紹介をさせて戴きます。

#### ① 山本健さん

通称「ゴン」さん。

山本さんは元成城水泳会会長の山本勉さん(現在:名誉会長)のお兄さんで、成城学園高校から慶応大学に進み、ゴールキーパーとして活躍し、ローマオリンピックに出場した方。

成城出身で初めてオリンピック選手になった人。

昭和40年代前半には、成城大学のコーチを務められた方。

私は2016年リオデジャネイロ大会に出場する日本代表チームの壮行会で初めてお会いしました。

#### ② 桑原和司さん

京都出身で、大学から成城。

成城大学水泳部で伝説となった「桑原三兄弟」の長男

成城大学がインカレで優勝した時のレギュラー選手

外国人ハーフを想わせる程に風貌が良く、色白で美男子、冷静沈着な国際派銀行マン。私達はアランドロンに似ている格好良い先輩と言っていました。弟の重治さんを鍛え上げ、オリンピック選手に育て上げた情熱、コーチング能力は並大抵のものではないと伺っています。

私は、桑原さんが40歳代で出場した銀行間の水泳大会で、50秒台で優勝する姿を観たことがあります。凄かった。超人的なスイマーでした。

#### ③ 村上(本郷)順三さん

京都の山城高校出身で、大学から成城。

当時、山城高校は成城学園高校とはライバルで村上さんの後輩も何人か成城に進学している。

桑原さんと同じく、成城大学がインカレで優勝した時のレギュラー選手

成城の栄光の選手であるにもかかわらず、後輩に驕ることなく優しく接してくれる偉大な先輩。



【日大ー成城大水球決勝】後半日大高木のシュートならず

先般、インカレ優勝の新聞記事の成城ゴール前の写真に日大の高木さん（白帽子7番）と一緒に写っているのが自分だよと教えて戴きました。

なお、その前のバックは、堀 正美さんで、ゴールキーパーは、吉村（檀野）広司さんです。

#### ④ 浜野武人さん

浜野さんは、私が高校3年生の時に国体の東京選抜に選ばれ、当時の高校監督の十文字先生から関東大会後に、「石塚は明日から城北高校で練習してこい。」と言われ、毎日、城北高校の練習に参加することになった時にお会いしました。

当時、城北高校は東京で一番のチームで、毎日のようにOB達が集まり、現役を指導していました。練習の最後にはOBとの練習試合があり、浜野さんも選手として参加していたことを覚えています。

声が大きく、ユーモアで、おおらかな、面倒見の良い方だったと記憶しています。

成城の私と優しく接してくれたのは、「ガネフォ戦士」の後輩だったからですね。



青木                  西堀                  (私) 石塚  
リオデジャネイロ    オリンピック壮行会 にて